



桜の如く

■村松桜中学校 学校だより■

令和7年11月20日発行 第8号

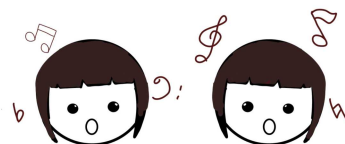


この歌声を、伝統に。

「華唱優楽（かしょうゆうらく）」をスローガンに掲げ、合唱祭が開催されました。今年は、発声練習を兼ねて、全校合唱「夏の日への贈りもの」にもチャレンジしました。300人を超える全校生徒で歌う合唱は圧巻でした。

審査員長から、次のようなコメントをいただきました。

合唱祭では、大勢の中で安心して声を出せる気持ちの良い貴重な体験をした。「これぞ混声合唱」というお手本のような歌声であった。ぜひ、村松桜中学校の伝統にして欲しい。



人はなぜ歌うのか。人は楽しいとき、鼻歌を歌ったり、声を出して歌ったりする。楽しいから歌うのかも知れない。一方で、カラオケに行くと、同僚に勧められて緊張しながら歌ったら楽しくなったという経験がある。歌うと楽しくなるかも知れない。だから、緊張感を乗り越えて、頑張って歌って欲しい。



歌いながら仲間の歌声にも耳を傾けてみよう。きっと、一体感が高まる。可能なら、歌いながら練習中のことを振り返ってほしい。練習は楽しいことばかりではない。でも、その経験を乗り越えたからこそ今があり、今日がある。【校長】

我が校の校歌を作曲してくださった佐藤峰男先生は、村松地区出身の方です。また、統合前から山王中学校でも、愛宕中学校でも合唱祭は盛んに行われていました。村松には合唱や音楽に親しむという文化が根付いているのだと思います。



結果は以下の通りでしたが、いずれも劣らぬ素晴らしい合唱でした。

賞	学級	曲名	作詞	作曲
最優秀賞	3年3組	YELL	水野	良樹
優秀賞	2年1組	旅立ちの時～Asian Dream Song～	ドリアン 助川	久石 譲
	1年2組	あさがお	山崎	朋子

ネットも、リアルも。

自身のスクリーンタイムの多さに驚き、最近は意図して読書や工作の時間を確保するようにしています。特に、はまっているのは「折り紙」です。万博のキャラクター「ミャクミャク」を折り紙で毎日4体ずつ作り続け、200体を超えました。1体15～20分かかるので50時間以上のアウト・メディアに成功しています。次は何を作ろうかな。



【アウト・メディアの工夫】

- ・スマホを視野に入らないところに置く癖をつける。
- ・好きなリアルを見つけて、打ち込む。



丸い紙で鶴が折れますか。

日本人の多くが折り紙で鶴を作ることができます。地球規模で考えると凄い国だと思います。さて、丸く切った折り紙で鶴を折ることができるのでしょうか。鶴を折って、もう一度開いて、丸く切ればできるので、丸い紙で折り鶴も可能なはずです。想像力を働かせて作ってみませんか。他にも各種展示や工作で、生徒たちにアウト・メディアを推奨しています。

折り紙以外の工作を校長室前に順番に展示しています。一部紹介します。



【テンセグリティ】



【バランストンボ】



【仁徳天皇陵模型】



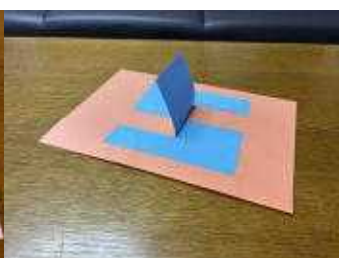
【ダビンチブリッジ】



【ひっくり返すパズル】



【変身サイコロ】



【不思議な立体】



【花びら取りゲーム】



校長と話してみませんか。

着任以来、たくさんの方が校長室を訪れました。

祭り関係、マラソン関係、保護司、自衛隊、ボランティア関係、不登校親の会、フリースクール、五泉市職員、地域おこし隊、通信制高校の先生、旅行者、保険会社、等

話す度に発見があり、可能性が広がります。まずは、学校(58-6530)にご連絡ください。